

私の臨床 ルートZX mini

スピーディに安全に確実に 根管長を測定し チェアタイムを短縮



埼玉県富士見市
やまうらデンタルクリニック
院長 山浦 玄州

私は、明海大学歯学部を卒業後、母校の歯科補綴学第2講座（現機能回復保存学講座）に入局し、歯科補綴学を中心に歯科医療の臨床を学びました。私が臨床のスタートに補綴を選んだのは、治療のゴールは補綴であり、その成否が直接その後の患者さんのQOLに直結すると考えたからです。

日々の診療において、我々はまず、患者さんのその日の主訴を確実に解決しなくてはなりません。しかしながらこのことにより、場当たり的な診療を繰り返し、ともすれば「いつの間にかこうなってしまった」ということ、つまりボトムアップトリートメントになりがちです。補綴を学んだことによってトップダウントリートメントの概念を頭に置きつつ外科、歯内療法、歯周治療を考えられることが非常に強みになっていると思います。

医局員時代は明海大学歯学部同窓会の学術部員として各種勉強会の開催のお手伝いをさせて戴く機会を得て、各方面でのトップレベルの先生方のお話を伺う機会に恵まれました。

同時にアルバイト先の医療法人田中歯科において青梅分

院・日の出分院の立ち上げに副院長として赴任し、地域における医療サービスの根本を学び、開業に備えました。

そして、昨年9月、東武東上線鶴瀬駅東口駅前（埼玉県富士見市鶴瀬）にクリニックを開業しました。

私が自分の城を構えるにあたり、まず考えたことは、補綴を必要とする患者層が期待できること、そして勤務医時代に勢いで購入してしまったマンションの近隣であること、です。少子高齢化は時代の趨勢ではありますが、幸いにも我が鶴瀬地区は高齢化率が埼玉県内でも特に高く、19%を超えています。そして5年後には24%まで高齢化が進むと推



よりコンパクトで使いやすくなったルートZX mini。



東武東上線鶴瀬駅からおよそ1分。「一生、自分の歯で食べよう!」、「身近なかかりつけ歯科医」が合言葉だ。



シグノ トレファートが先進医療を支える個室診療室。液晶ワイドディスプレイのCGによる治療説明は好評だ。

計されています。思惑通り(?)、実際、当地においては首都圏としては想像以上に咬合の崩壊した症例が多く、悪戦苦闘の毎日です。しかしながら、開業から1年を経て、補綴成功例も増え、地域の皆様の役に立っているという実感が出てきました。今後も各種勉強会等に積極的に参加し、技術の研鑽に努め、地域の皆様の頼りになる、存在感のあるクリニックに育てていきたいと考えています。

若輩者の私が今更言うまでもなく、根管治療には確実性が求められます。大学病院、勤務医時代から私はルートZX以外の根管長測定器は使ったことがありませんでした。

今回開業にあたり、根管長測定器を選定する際、何か目新しい物とつい考えてしまい、某社の新製品を数日のテストの後購入しました。これが失敗でした。この器械は乾燥時には素晴らしい測定精度をもたらしましたが、抜髄時等出血が多いときは頻繁にリークし、ほとんど使い物にならず、苦勞しました。即、知人から予備のルートZXを借り、使用していましたが、今回、よりコンパクトなルートZX miniの発売を知り、導入に至った次第です。

ルートZX miniに戻って以来、根管内に出血があって、ある程度の湿潤状態でも、根管長の測定がスムーズにスピーディに、しかも正確にできることにより、チェアタイムの短縮化・治療時のストレスの緩和、そしてなによりも残髄



炎等の術後の不快症状が非常に減りました。

トレファートとのデザインマッチングもよく、小型軽量であるため軽快なハンドリングでとても気に入っています。

根管長の正確な測定は、根管治療を成功させる揺るぎない土台であり、補綴治療の最終ゴールに至る基本プロセスであることは論を待ちません。

チェアサイドでの即時性、安全性、正確性が要求され、EBD (科学的根拠に基づく歯科治療)、包括的医療、チーム医療など、医療のパラダイムシフトが大きく転換している昨今、根管治療の必須の基本ツールとして、よりコンパクトになった歯科用根管長測定器のルートZX miniを臨床家の先生方に、ぜひお奨めしたいと思います。



スムーズ・スピーディ・正確な根管長の測定は、根管治療の必須条件。チェアタイムの短縮化にもつながっている。



「口腔機能や審美的回復」に軸足を置いた先進医療の実践。ルートZX miniの先進機能もアシストしている。